

### 第3ステージ「学校評価の4点セット」例

#### 学校教育目標「基礎基本を身につけ、自らで課題を設定し、解決に向け共に学び続ける児童生徒の育成」

#### 育成を目指す資質能力：問題発見・解決能力、協働性

重点目標	達成指標		重点的取組	取組指標 (誰が、何を、どのくらいの頻度で)
基本的な学習・生活習慣及び基礎・基本の学力・体力を身に付けた子ども【知・技】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国・県・市の学力調査で偏差値50以上</li> <li>○ 単元末テストの全教科で平均50点以上8割以上</li> <li>○ 学期ごとの測定で握力・50M走の値が全国平均以上の児童生徒7割以上</li> </ul>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習規律の定着</li> <li>○ 新大分スタンダードに基づく授業改善</li> <li>○ 運動の日常化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業者は「〇〇学習スタンダード」に沿った学習規律の声かけを毎時間実施する。</li> <li>○ 授業者は「めあて」に対応した「振り返り」の時間を毎時間設定する。</li> <li>○ 体育の毎授業時間において、体力アップのための基礎トレーニングを実施する。(一校一実践)</li> </ul>
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ メディアコントロールによる時間管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は学習強化週間時においてチェック表による生活習慣の確認を実施する。</li> </ul>
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習サポーターの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校運営協議会等の地域住民は学習サポーターとして学期に3回以上参加する。</li> </ul>
自分の思いや考えをもち、自信を持って表現できる子ども【思・判・表等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元末テストで思考力、判断力、表現力の正答率が7割以上の児童生徒8割以上</li> <li>○ 学校アンケートの「自分の考えをもち、表現できた」と答えた児童生徒の割合8割</li> <li>○ 図書館活用において読書量各学一人あたり月平均10冊以上</li> </ul>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カリキュラムマネジメントの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教務主任や主幹教諭がカリキュラムを学期ごとに見直し検討を実施する。</li> <li>○ 授業者は単元の中で「主体的で対話的で深い学び」を意識した授業実践を行う。</li> </ul>
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は学期ごとに読書を家庭で行う習慣を位置づけ「チェック表」を活用した取組を実施する。</li> </ul>
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活科・総合的な学習の時間への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校運営協議会等のメンバーはゲストティーチャーや課外活動の学習サポートなどの企画運営に参加すると同時に、授業に参加する。</li> </ul>
自ら課題を見つけ、様々な課題に仲間と協働しながら取り組む子ども【学向・人間性等】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校アンケートの「仲間と協働して授業に参加した」と答えた児童生徒の割合8割以上</li> <li>○ 授業時に実施する自己評価の「自ら課題を見つけ、意欲的に取り組んだ」と答える児童生徒の割合8割以上</li> </ul>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ よりよい人間関係の形成</li> <li>○ 人権教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全職員で週に1回は「人間関係づくりプログラム」を実施する。</li> <li>○ 授業者は「生徒指導の3機能」を意識した授業を毎時間実施する。</li> </ul>
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつと褒める声かけの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者は家庭内でのあいさつを毎日行う。</li> <li>○ 保護者は児童生徒の日常の様子に関心をもち、褒めて認める取組を行う。</li> </ul>
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつと温かい声かけの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校運営協議会等のメンバーは、登下校時の児童生徒に対するあいさつと温かい声かけを毎日行う。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域行事への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校運営協議会等のメンバーは、地域で行われる行事において児童生徒とともに運営するように工夫する。</li> </ul>
業務改善の推進及び地域との協働の実現【働き方改革の推進】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月平均時間外勤務時間を前年度月平均2割削減</li> <li>○ 学校アンケートの「地域との連携ができ、地域の行事にも参加できた」と答える保護者の割合7割以上</li> <li>○ 学校関係者評価の「学校運営に参画できた」と答える地域の方の割合7割以上</li> </ul>	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行事の見直し</li> <li>○ 会議の持ち方工夫・削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標に沿った行事の精選、簡素化や取組期間の見直し等を検討し、年間で実施される行事の削減縮小を実施する。</li> <li>○ 参加するメンバーが重なる会議は、連続して会議を実施する。</li> </ul>
		家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の安全やコミュニティーの構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ PTA は、学校運営協議会等のメンバーと連携して登下校の見守りを実施する。</li> </ul>
		地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放課後児童クラブ運営の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童クラブなどで児童の学習に対して、学校と連携し指導及び助言を実施する。</li> </ul>